

# 国 語

学 年	目 標 内 容
1 年	<p>【読むこと】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けてはっきりした発音で音読することができる。</p> <p>【書くこと】語と語や文と文の続き方に注意して書くことができる。</p> <p>【書 写】姿勢や筆記用具の持ち方を正しくして書くことができる。</p> <p>【言 語】平仮名及び片仮名を正しく書くことができる。</p>
2 年	<p>【話すこと・聞くこと】分からないことをたずねたり、質問に答えたりすることができる。</p> <p>【読むこと】正しく行をたどり、文章全体を読むことができる。</p> <p>【書くこと】事柄の順序に沿って文章を書くことができる。</p> <p>【言 語】学年配当の漢字を読み、1年生までの漢字を書くことができる。</p>
3 年	<p>【読むこと】内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読することができる。</p> <p>【書くこと】いくつかの文をつなげ、段落をつくって書くことができる。</p> <p>【書 写】毛筆書写の基礎(筆の持ち方、運び方など)を身につけている。</p> <p>【言 語】学年配当の漢字を読み、2年生までの漢字を書くことができる。</p>
4 年	<p>【話すこと・聞くこと】話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすることができる。</p> <p>【書くこと】目的や必要に応じて理由や事例を挙げて詳しく書くことができる。</p> <p>【言 語】国語辞典や漢字辞典の使い方を理解して調べることができる。</p> <p>【言 語】学年配当の漢字、ローマ字で表記されたものを読み、3年生までの漢字を書くことができる。</p>
5 年	<p>【話すこと・聞くこと】相手や場に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。</p> <p>【読むこと】自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすることができる。</p> <p>【書くこと】敬体と常体の違いに注意しながら書くことができる。</p> <p>【言 語】学年配当の漢字を読み、4年生までの漢字を書くことができる。</p>
6 年	<p>【話すこと・聞くこと】相手や場に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。</p> <p>【書くこと】段落と段落をつなげ、文章全体を組み立てて書くことができる。</p> <p>【言 語】古文や漢文について親しむことができる。</p> <p>【言 語】学年配当の漢字を読み、5年生までの漢字を書くことができる。</p>

# 社 会

学 年	目 標 内 容
1 年	
2 年	
3 年	<p>【技能・表現】観点に基づいたり、他の事象と対比したりしながら観察、調査ができる。</p> <p>【技能・表現】調査結果を絵地図や地図記号を使った平面地図に書き表すことができる。</p> <p>【知識・理解】10程度の地図記号と4方位を覚える。</p> <p>【知識・理解】東京都内の全市区町村のうち、周辺区を中心に7割程度の名称と位置を覚える。</p>
4 年	<p>【技能・表現】地図帳の内容構成を理解し、問題解決のための教材として効果的に活用できる。</p> <p>【技能・表現】統計資料について、表題、出典、縦軸・横軸の単位、全体の傾向などを把握できる。</p> <p>【知識・理解】20程度の地図記号と8方位を覚える。</p> <p>【知識・理解】47都道府県のうち、関東地方を中心に主な都道府県の名称と位置を覚える。</p>
5 年	<p>【技能・表現】複数の資料を関連付けて読み取ることができる。</p> <p>【知識・理解】47都道府県の名称と位置を覚える。</p> <p>【知識・理解】六大陸と三海洋及び周辺国と主要10カ国程度の名称と位置を覚える。</p> <p>【知識・理解】我が国の位置と領土について把握し、世界の広がりの中で言い表すことができる。</p>
6 年	<p>【技能・表現】インターネットなども活用し、必要な資料を収集・選択したり吟味したりできる。</p> <p>【知識・理解】時代順を覚え、代表的な42人の人物の働きについても、その概要を把握する。</p> <p>【知識・理解】政治の働きの最も基本的事項として、日本国憲法の三原則や三権分立などを着実に理解する。</p> <p>【知識・理解】47都道府県の名称と位置を覚える。</p>

# 算 数

学 年	目 標 内 容
1 年	◎【数と計算】加法・減法の場合を文章題の言葉から判断し、式にできる。 ○【量と測定】長さ、面積、体積の直接比較ができる。
2 年	◎【数と計算】かけ算九九を確実に暗唱することができ、それを用いることができる。 ○【量と測定】身の回りの具体物の長さ(mm・cm・m)や、かさ(ml)の測定ができる。 【図 形】長方形、正方形、直角三角形の特徴を理解し、定規を使い作図することができる。 【数量関係】かけ算において、かける数が増えると、積も変化することが分かる。
3 年	○【数と計算】乗法・除法の場合を文章題の言葉から判断し式にできる。分数や小数の意味や表し方が分かる。 ○【量と測定】時間の単位(日、時、分、秒)を知り、時刻や時間が求められる。重さや長いものの長さの測定ができる。 ○【図 形】二等辺三角形、正三角形、円の意味を理解し、定規やコンパスを使い作図することができる。 ○【数量関係】棒グラフを読んだり、かいたりできる。
4 年	◎【数と計算】帯分数、仮分数、真分数の意味が分かり、計算することができる。 ○【量と測定】面積の単位( $\text{cm}^2$ ・ $\text{m}^2$ ・ $\text{km}^2$ )について分かり、面積を求めることができる。 【図 形】平行四辺形、ひし形、台形の性質を基にして、作図をすることができる。 【数量関係】表や折れ線グラフに表したり、変化の特徴を読みとったりすることができる。
5 年	◎【数と計算】約数や倍数を求めることができる。異分母分数の加法・減法の仕方が分かり計算できる。 【量と測定】面積・体積を求めることができる。(三角形・平行四辺形・ひし形・台形・立方体・直方体) 【図 形】合同な図形をかくことができる。正多角形・角柱・円柱の概念、性質を理解できる。 ○【数量関係】割合(百分率・歩合)の意味について理解できる。比例の意味を理解できる。
6 年	【数と計算】分数の乗法・除法の仕方が分かり計算できる。 ◎【量と測定】速さや人口密度など、単位量あたりの考えが理解できる。円の面積や角柱・円柱の体積を求めることができる。 【図 形】縮図や拡大図をかくことができる。 ○【数量関係】比例・反比例の意味や性質、関係を表す表やグラフについて理解できる。比の意味と表し方を理解できる。

# 理 科

学 年	目 標 内 容
1 年	
2 年	
3 年	【エネルギー】電気を通すつなぎ方や電気を通す物があることがわかる。 【生 命】昆虫や植物の成長の過程や体のつくりを調べ、成長のきまりや体のつくりについて理解できる。
4 年	【エネルギー】乾電池の数やつなぎ方によって、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。 【粒 子】水や鉄は、温度によって状態が変化することがわかる。 【生 命】動物や植物は季節によって活動の様子に違いがあることを知ることができる。
5 年	【粒 子】水の温度や量による物の溶け方の違いを理解できる。 【生 命】植物・メダカの観察や母体内の子どもの成長を調べることを通して、成長の様子をとらえることができる。 【エネルギー】電磁石に電流を流したときの、電流の働きの変化とその要因を理解できる。
6 年	【エネルギー】実験を通して、てこがつり合うときには規則性があることがわかる。 【粒 子】いろいろな水溶液を調べ、酸性、中性、アルカリ性の三つの性質がわかる。 【生 命】体内の臓器の名称や体内における位置を知ることができる。

# 音 楽

学 年	目 標 内 容
1 年	○校歌や運動会の歌など6年間歌う歌を歌詞を覚えて歌うことができる。 ○鍵盤ハーモニカのドレミファソの音を正しい指使いで弾くことができる。
2 年	○友だちと声を合わせて歌うことを楽しみ、自分の歌声に関心をもって歌おうとする。 ○鍵盤ハーモニカの正しい指使いを身に付け、拍に合わせて演奏しようとする。
3 年	○自然で無理のない歌い方に親しみ、友達と声をそろえて歌ったり、交互に歌ったりと曲の気分に合わせて歌おうとする。 ○様々なリズム楽器やリコーダーに親しみ基本的な演奏の仕方を身に付ける。
4 年	○音の高さやリズムに気を付けたり、呼吸や発音の仕方に気を付けたりして、自然で無理のない歌い方で歌おうとする。 ○旋律の特徴に合わせた演奏の仕方を身に付け、曲想に合った表現を工夫して演奏しようとする。
5 年	○呼吸や発音の仕方に気を付け、旋律の重なり合いを聴きながら響きのある声で歌おうとする。 ○楽器の音や旋律、リズムの重なりを聴き合いながら各パートを重ね演奏しようとする。
6 年	○強弱や速度との関わり合いから曲想を感じ取り、歌詞の内容にあった表現を工夫し歌おうとする。 ○楽器の音色に気を付け、重なり合う響きを聴き合いながら、パートの役割や楽器の特徴を生かして演奏しようとする。

# 図 工

学 年	目 標 内 容
1 年	<p>○材料や場所に関わって楽しんだり、かいたりつくったりする活動そのものを楽しみ、主体的に取り組めるようにする。</p> <p>○自分の思いを実現するために必要な技術は最低限習得できるよう、紙・粘土の扱いに慣れるようにする。</p> <p>○用具では、クレヨン・のり・はさみを正しく使えるようにする。</p>
2 年	<p>○表したいこと、作りたいものを自分の表現方法でつくりだせる喜びを味わう。</p> <p>○材料をもとにした制作活動を楽しみ、発想や感覚、技能を働かせるようにする。</p> <p>○かいたり、つくったり、見たりすることに関心を持ち、楽しさを味わえる。</p>
3 年	<p>○進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>○材料などから豊かな発想をし、手や身体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。</p> <p>○身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。</p>
4 年	<p>○進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>○材料などから豊かな発想をし、手や身体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。</p> <p>○身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。</p>
5 年	<p>○創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。</p> <p>○親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。</p>
6 年	<p>○造形的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。</p> <p>○親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。</p>

# 家 庭

学 年	目 標 内 容
5 年	○製作や調理の基礎的な技能を身につける。 ○食生活を見直し、調和のよい日常の食事について考えたり、工夫したりする。
6 年	○制作や調理の身につけた基礎的な技能を応用して作業ができる。 ○近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活を見直し、環境に配慮した生活を自分なりに工夫できる。

# 体 育

学 年	目 標 内 容
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心を引き出し、意欲的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>○体の基本的な動き(走る・投げるなど)を身に付けたり、逆さ感覚や腕支持感覚など日常の中で経験できない動きを養ったりする。</li> <li>○体づくり運動では柔軟性を高める。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心を引き出し、意欲的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>○柔軟性を高め、前年を上回るようにする。</li> <li>○体づくり運動を通して、筋力を向上させるようにするなどバランスよく運動遊びに取り組めるようにする。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が「できる」楽しさを味わい、主体的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>○各種の運動の基礎・基本となる動きや技能が身に付き、さらに高められるようにする。</li> <li>○逆上がりを学年半分の児童ができるようにする。</li> <li>○前転・後転を全員ができるようにする。</li> <li>○体づくり運動では敏捷性と柔軟性を高め、前年を上回るようにする。</li> </ul>
4 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が「できる」楽しさを味わい、主体的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>○各種の運動の基礎・基本となる動きや技能が身に付き、さらに高められるようにする。</li> <li>○お互いが協力し合い、教え合う中で自分の成長を感じることができるようにする。</li> <li>○器具を使った運動で自分のめあてにあった技が全員できるようにする。</li> <li>○保健での体の発達や食育の学習において、日々の生活を健康に過ごすための理解を図る。</li> </ul>
5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が、様々な運動に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>○全員が水泳でクロール・平泳ぎの正しい泳法を身に付けるようにする。</li> <li>○自分の能力や体の調子に気付き、運動の必要性を理解し、体力が向上するようにさせる。</li> <li>○体づくり運動では柔軟性、敏捷性を高め、前年を上回るようにする。</li> <li>○保健や食育の学習では、生活体験の中から心の発達および不安、悩みへの対処のしかたについて理解し、けがの防止や心の健康についての理解を図る。</li> </ul>
6 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が、様々な運動に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>○全員が水泳で25m以上泳げるようにする。</li> <li>○自分の能力や体の調子に気付き、運動の必要性を理解し、体力が向上するようにさせる。</li> <li>○体づくり運動では敏捷性を高め、前年を上回るようにする。</li> <li>○保健や食育の学習では、生活習慣病や薬物乱用についての理解を図る。</li> </ul>



# 生 活

学 年	目 標 内 容
1 年	○身近な自然を観察したり、育てたりするなどして、自然との触れ合いを深め、生命を大切にすることができるようにする。 ○みんなで使う物や場所、施設を大切に正しく利用できるようにする。
2 年	○自分でできるようになったことや生活での自分の役割が増えたことなどを喜び、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつことができるようにする。 ○家族や友達や先生をはじめ、地域の様々な人々と適切に接することができるようにする。 ○身近にあるものを利用して作ったり、繰り返し大切に使ったりすることができるようにする。

## 第1学年：課題と授業改善案

### 国語

<b>必達目標</b>	<p>【読むこと】正しく行をたどり、語のまとまりに気を付けて読み、大意をつかむことができる。</p> <p>【書くこと】語と語や文と文の続き方に注意をして書くことができる。</p> <p>【書写】正しい姿勢や筆記用具の持ち方で、字系に気を付けて書くことができる。</p> <p>【言語】平仮名・片仮名や当該学年の漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。</p>
<b>課題</b>	<p>○滑らかに音読することが難しい児童がおり、読むことの方に差がみられる。</p> <p>○主語と述語がねじれた文や、つなぎ言葉がない分りにくい文章を書く児童がいる。</p> <p>○座ったときの姿勢が崩れやすく、自分の持ちやすい鉛筆の持ち方に変えている児童がいる。</p> <p>○平仮名・片仮名46文字や促音、拗音を正しく覚えていない児童がいる。</p>
<b>授業改善案</b>	<p>◎朝学習や国語の時間など、毎日5分程度音読の時間を設けると共に、多層指導モデルMIMを授業に取り入れる。</p> <p>○短作文や日記など、書く機会を多くし、文字や文章の書き慣れをする。</p> <p>○「ぐー、ぺたん、ぴん」など、掲示物や具体的な指示で常に正しい姿勢と持ち方を意識させる。</p> <p>○大田区漢字検定の他に学級でも平仮名や片仮名、漢字の小テストを行い、書き順や特殊音節の正しい表記への意識をもたせ、定着を図る。</p>

### 算数

<b>必達目標</b>	<p>○【数と計算】加法・減法の場面を文章題の言葉から判断し、立式することができる。</p> <p>○【量と測定】長さや水のかさを、適切に直接比較することができる。</p>
<b>課題</b>	<p>○文章問題で、加法・減法の演算決定ができていない児童がいる。</p> <p>○10までの数のたし算ひき算の計算に、指やブロックが必要な児童がいる。</p> <p>○補数関係の理解が不十分で、「5は2とあといくつ」「3といくつで10」などの問いに正しく答えられない児童がいる。</p>
<b>授業改善案</b>	<p>◎たし算・ひき算の演算決定のキーワード「あわせて」「みんなで」「ちがいは」などの言葉に線を引き、題意を明確にして問題に取り組ませる。</p> <p>○算数ブロックなどの具体物を十分に使い、数の概念のイメージを児童にもたせて問題に取り組ませる。</p> <p>○フラッシュカードやブロックを使い、1～20までの数や、5や10の補数について慣れさせていくとともに、正確に答えを導き出せるようにする。</p> <p>○時間や時刻など、学校生活の中で学習事項を積極的に活用し、定着を図る。</p>

### 生活

<b>必達目標</b>	<p>○学校や家庭や地域など、身の回りの人との関わりを通し、自分の生活に生かしたりよさに気付くことができる。</p> <p>○身近な自然を観察したり、育てたりするなどして、自然との触れ合いを深め、生命を大切にすることができるようにする。</p> <p>○みんなで使う物や場所、施設を大切に正しく利用できるようにする。</p>
<b>課題</b>	<p>◎縦割り班や交流会など活動は楽しめるが、活動で得た気づきを、自分の生活に生かしたり表現したりが十分でない児童がいる。</p> <p>○朝顔を育てたが、毎日の水やりを忘れてしまう児童がいる。</p> <p>○児童館や公園を利用している児童が多いが、施設を大切にしたり、安全に気を付けたりしていない児童がいる。</p>
<b>授業改善案</b>	<p>◎縦割り班や交流会など活動の際には、事前にめあてをよく確認し、振り返りの際にもポイントを押さえて振り返り、表現するようにする。</p> <p>○植物の観察や動物との触れ合いなど、直接的な自然とのふれあいの場を設定し、振り返りの時間を確保する。また、目的をもって植物を育てるために、リース作りや種をプレゼントすることなどを事前に伝える。それにより、水やりなど生命を大切にしている具体的な行動や方法に気づき、実践できるようにする。</p> <p>○公園を実際に利用し、みんなで使う場所の利用の仕方に気付かせる。その後、振り返りの時間を設け、全体でも確認する。</p>

音楽	
必達目標	<p>【器楽】鍵盤ハーモニカのドレミファソの音を正しい指使いで弾くことができる。</p> <p>【歌唱】校歌や運動会の歌など6年間歌う歌を歌詞を覚えて歌うことができる。</p>
課題	<p>○拍の流れによって、一緒にリズム打ちや演奏をすることができない児童がいる。</p> <p>○歌詞をしっかりと覚えて、自信をもって歌うことができない児童がいる。</p>
授業改善案	<p>◎リズム打ちや鍵盤ハーモニカなどの演奏をし、友達の演奏のよいところを発表しあったり賞賛しあったりして、できた喜びを互いに十分味わうように指導する。</p> <p>○校歌については、行事の時期に限らず継続的に扱い定着を図る。</p> <p>○朝の会などの時間も利用して、日常的に歌う習慣をつける。繰り返し歌うことにより、自信をもって歌えるようにする。</p>

図工	
必達目標	<p>○材料や場所に関わって楽しんだり、かいたりつくったりする活動そのものを楽しみ、主体的に取り組めるようにする。</p> <p>○自分の思いを実現するために必要な技術は最低限習得できるよう、紙・粘土の扱いに慣れるようにする。</p> <p>○用具では、クレヨン・のり・はさみを正しく使えるようにする。</p>
課題	<p>○つくりたい気持ちが先走ってしまい、学習のめあてを把握せずに作業に取りかかってしまう児童がいる。</p> <p>○材料や用具の使い方が十分身につけていない児童がいる。</p> <p>○何を作ったらいいか、作り始めるまでに時間や相談が必要な児童がいる。</p>
授業改善案	<p>◎教師の見本や写真など、イメージづくりの手掛かりを提示して、自分の作品のイメージを明確にできるようにする。</p> <p>○材料の質、形や色に着目するように声かけをして、それらを生かした造形活動を行えるようにする。</p> <p>○材料や用具の正しい使い方を確認した上で十分に慣れさせ、道具の使い方をきちんと身に付ける。それにより、自分の表現できることが今まで以上に増えていく楽しみを伝える。</p>

体育	
必達目標	<p>○興味・関心を引き出し、意欲的に運動に取り組めるようにする。</p> <p>○基本的な動き（走る・投げるなど）を身に付けたり、逆さ感覚や腕支持感覚など日常の中で経験できない動きに取り組んだりする。</p> <p>○体づくり運動では、柔軟性や筋力、持久力を高め、バランスよく運動遊びに取り組めるようにする。</p>
課題	<p>○自分が苦手な種目になると消極的になってしまう児童がいる。</p> <p>○運動全般において、投げる、蹴る、捕る、握るなど、基本的な動作が身につけていない児童がいる。</p> <p>○持続的な運動を苦手とする児童がいる。</p>
授業改善案	<p>◎ゲーム形式の運動では、必要に応じてルールを工夫するなど、苦手意識をもつ児童も積極的に活動し、体を動かすことの楽しさを味わうことができるようにする。</p> <p>○カード等を用いて、個人の力に合わせた目標とその達成に向けたスモールステップを設定する。その中で誰もが「できた」という達成感を味わうことができるようにする。</p> <p>○逆さ感覚や腕支持感覚を養うために、固定遊具を使った運動遊びやマット遊びの活動を取り入れる。</p> <p>○活動の前後にストレッチを取り入れて、柔軟性を養っていく。</p> <p>○サーキットトレーニングを、授業の始めに実施する。</p>

## 第2学年：課題と授業改善案

国語	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正しく行をたどり、文章全体を読むことができる。</li> <li>○分からないことをたずねたり、質問に答えたりすることができる。</li> <li>○事柄の順序に沿って文章を書くことができる。</li> <li>○学年配当の漢字を読み、1年生までの漢字を書くことができる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音読する際、言葉の意味を理解しておらず、字だけを追って音読していることがある。</li> <li>○質問に対する的確な答えを話すことができていないことがある。</li> <li>○文章に書かれている言葉から、大事な言葉や文を書き抜くことができないことがある。</li> <li>○事柄の順序を表す言葉を使ったり、段落や会話を考えたりして文章を書くことができていないことがある。</li> <li>○1年生で習う漢字や助詞を日頃ノートや作文で書くときに使いこなせていないことがある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎音読する際、語のまとまりを意識させ、内容が伝わりやすいように工夫できるよう指導する。また、音読の宿題では「声の大きさ」「すらすら読む」「気持ちを考えながら読む」の観点で保護者にチェックしてもらい、継続的に指導する。</li> <li>○質問の内容を具体的にし、分かりにくい発言に対しては、教師が整理をして言い直しができるようにする。</li> <li>○事柄の順序に沿って文章を書くために目的意識をもち、「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識した文章づくりができるよう、作文の活動を週1回以上取り入れる。</li> <li>○既習漢字を日頃のノートや作文、日記でも使えるよう随時声をかけ、1年生までの既習漢字を書くことができ、2年生で習う漢字を全て読むことができるなど使いこなせるようにする。また、「を」「へ」「は」など</li> </ul>

算数	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かけ算九九を確実に暗唱することができ、それを用いることができる。</li> <li>○身の回りの具体物の長さ(mm・cm・m)や、かさ(mL)の測定ができる。</li> <li>○長方形、正方形、直角三角形の特徴を理解し、定規を使い作図することができる。</li> <li>○かけ算において、かける数が増えると、積も変化することが分かる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2桁の繰り上がり・下がりのある計算につまずくことがある。正確に計算する力が弱い面が見られる。</li> <li>○長さの単位や水のかさの単位では、目盛りを正しく読んだり、量感を頭にイメージして予測して測ったりすることができないことがある。</li> <li>○ものさしを使って、長さを読み取る、線を引くなどの作業ができないことがある。</li> <li>○文章問題から立式に必要な情報を読み取り、設問に対する正しい答えが求められないことがある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎九九の学習を始め、家庭と連携しながら九九を習得できるようにする。</li> <li>○算数チェックシートを活用し、学期ごとに、既習学習の理解度を確かめる。また、算数チェックシートの練習問題に日常的に取り組み、確実に既習学習の理解を定着させる。</li> <li>○具体物を用意し、実際の大きさを見たり、自分の手で操作したりしながら量や長さに対する感覚を養う。</li> <li>○算数の学習だけでなく学校生活の中で定規を使って線を引く活動を増やすようにする。</li> <li>○文章問題の「分かっていること」、「聞かれていること」に対して色を分けて線を引き、答えることは何か</li> </ul>

生活	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分でできるようになったことや生活での自分の役割が増えたことなどを喜び、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつことができるようにする。</li> <li>○家族や友達や先生をはじめ、地域の様々な人々と適切に接することができるようにする。</li> <li>○身近にあるものを利用して作ったり、繰り返し大切に使用したりすることができるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のよさに気付いていない部分が多い。意欲と自信をもって生活することができていない。</li> <li>○家族や友達や先生、地域の様々な人々に支えてくれていることへの感謝の気持ちが希薄だったり、適切な態度がとれなかったりする。</li> <li>○身の回りの整理整頓が苦手なことや、植物の世話や係活動などを人任せにしてしまうことがある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「がんばったこと」や「がんばりたいこと」を発表する場を設定し、自分の成長を確認したり、意欲を高めたりする。</li> <li>○自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、伝える場面を考える。</li> <li>○動植物への愛着をしっかりと持たせ、大切に育てる意義を養っていく。</li> <li>○自分の役割に責任をもち、最後まで取り組めるように声かけしながら、自分の成長に喜びを感じられるようにする。</li> </ul>

音楽	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鍵盤ハーモニカの正しい指使いを身に付け、拍に合わせて演奏しようとする。</li> <li>○友だちと声を合わせて歌うことを楽しみ、自分の歌声に関心をもって歌おうとする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鍵盤ハーモニカでは正しい指使いで演奏できる児童が多いが、指の動きをコントロールできなくて最後まで演奏できない児童がいる。</li> <li>○歌うときの姿勢に気を付け、積極的に歌おうとする児童もいるが、みんなと声を合わせようとすることができない児童もいる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鍵盤ハーモニカでは全員が演奏できるように、フレーズごとに分担して演奏するなど練習方法を工夫していく。</li> <li>○遊び歌や体の動きを伴った活動を取り入れ曲の気分を感じたり、友達と関わり合ったりしながら楽しんで歌うようにする。</li> </ul>

図工	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいこと、作りたいものを自分の表現方法で作りだせる喜びを味わう。</li> <li>○材料をもとにした制作活動を楽しみ、発想や感覚、技能を働かせるようにする。</li> <li>○かいたり、つくったり、見たりすることに関心をもち、楽しさを味わえる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料の特性や用具の効果的な利用方法が身に付いていない児童がいる。</li> <li>○積極的に取り組んでいる児童がほとんどであるが、活動のペースに差がみられる。</li> <li>○作品完成まで集中力を維持できない傾向がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用方法をわかりやすく提示する。</li> <li>○個別指導を徹底し、作品制作が遅れがちな児童をサポートする。</li> <li>○短時間で完成できる題材も取り入れながら、完成する喜びを味わわせる。</li> </ul>

体育	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心を引き出し、意欲的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>○柔軟性を高め、前年を上回るようにする。</li> <li>○体づくり運動を通して、筋力を向上させるようにするなどバランスよく運動遊びに取り組めるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の苦手な学習に関しては、あまり意欲的に取り組めていないことがある。</li> <li>○固定施設を使った運動やスポーツテストの上体起こしなど、自分の体を起こしたり支えたりする技能や柔軟性に課題が見られる。</li> <li>○ゲーム・ボール運動において、相手がとりやすいボールを投げたり、確実にボールをキャッチしたりする技術や、最後まで懸命にゲームに取り組む体力が持続しない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎授業前・導入にストレッチをし、柔軟性が高められる運動を取り入れ、自分を支えたり、友達を運んだりする力試しの運動を十分行えるようにする。</li> <li>○授業の終わりに振り返りをさせ、がんばったところや楽しかったことを確かめさせ、体育への意欲が持続できるようにする。</li> <li>○学習の中で、的当てのボール遊びや攻守交代のベースボール型ゲーム、ゴール型ゲームなどを多く取り入れる。</li> </ul>

## 第3学年：課題と授業改善案

国語	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内容の中心や場面の様子など全体と部分に気を付けて読んだり、音読したりすることができる。</li> <li>○筋道を立てて文を構成することや、段落や文をつなぐ言葉を使って文を書くことができる。</li> <li>○書写の基礎(筆の持ち方、運び方など)を身に付ける。</li> <li>○学年配当の漢字を読むことができる。また、2年生までの漢字を書くことができる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内容の中心や場面の様子などを文の中から読み取る力に課題がある。</li> <li>○内容を詳しく説明したり、内容のまとまりを意識して書いたりすることに課題がある。</li> <li>○筆を使って字をきれいに書くことなど、書写の基礎に課題がある。</li> <li>○学習した漢字や意味について、文章を書くときに適切に使用することに課題がある。また、2年生までの配当漢字を含めた漢字の理解や活用に個人差がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎全体とある部分の関係や話の中心を意識した読み方や聞き方が分かるように視点を決めて指導する。また、詩や俳句、短歌などを暗唱したり音読したりする機会を増やす。</li> <li>○始め・中・終わりの構成や段落のつながりについてイメージマップや組み立てメモなどを活用して指導する。また、段落の内容に気を付けて書くことや文をつなぐ言葉の幅を増やししながら文の中で適切に使えるようにする。</li> <li>○書写の授業で、筆の持ち方や運び方などを確認しながら丁寧に指導する。</li> <li>○国語辞典で意味を調べる練習をする。漢字は止めやはね等書くポイントを示し、丁寧に指導する。ま</li> </ul>

社会	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観点に基づいたり、他の事象と対比したりしながら観察、調査ができる。</li> <li>○調査した結果を絵地図や地図記号を使った平面地図に書き表すことができる。</li> <li>○10程度の地図記号と四方位を覚える。</li> <li>○東京都内の全市区町村のうち、周辺区を中心に5割程度の名称と位置を覚える。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことや分かったことを、まとめる力に課題がある。</li> <li>○地図や資料から必要な情報を読み取る力を育成する必要がある。</li> <li>○土地の立地条件から、住む人々の暮らしと結びつけて比較したり関係づけて考えることが難しい。</li> <li>○地図記号や方位、地名などを定着させる必要がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎社会科見学や取材、調べ学習を通して分かったことや気付いたことを、地図など資料を活用しながらポスターなどにまとめる。</li> <li>◎地域などについて、絵地図を作ったり、分かったことをまとめたりしたことを発表する活動を行う。</li> <li>○「なぜそこにあるのか」など疑問をもち、その立地条件に着目し、問題を解決していく授業を展開する。</li> <li>○地図記号・幹線道路・鉄道・埋立地(島)・川・地域・有名な建物等、大田区の地図の読み方を繰り返し指導し、確認テストをすることで定着を図る。</li> </ul>

算数	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乗法・除法の場面を文章題の言葉から判断し、式にできる。</li> <li>○小数、分数の意味や表し方が分かる。</li> <li>○時間の単位(日、時、分、秒)を知り、時刻や時間が求められる。重さや長いものの長さの測定ができる。</li> <li>○二等辺三角形、正三角形、円の意味を理解し、定規やコンパスを使い作図することができる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○くり上がり、くり下がりのある計算において正確に計算する力に課題がある。</li> <li>○文章問題において、題意を捉えるのが不十分な児童が多い。</li> <li>○道具を操作して作図する際に、操作方法が定着していない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎繰り返し計算練習を行うことで、計算力を高める。</li> <li>◎文章問題の「分かっていること」「聞かれていること」に対して、求めることを明確にしてから演算決定ができるように色を分けて線引きをさせる。</li> <li>○文章問題は、図に表し場面を正しく捉え立式できるようにする。</li> <li>○図形の作図における定規やコンパスを正確に使いこなせるように繰り返し練習させる。また、線を引く際には普段から定規を使うように指導し、使う機会を増やす。</li> </ul>

理科	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な器具を使い、動植物の観察や電気などの実験をしながら、分かりやすく記録している。</li> <li>○自然事象にある問題を見つけ、違うところや同じところについて考えて説明することができる。</li> <li>○昆虫や植物の成長の過程や体のつくりを調べ、成長の様子や体のつくりが分かる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温度計・虫眼鏡・遮光板の使い方を正しく理解していない児童が多い。また、観察や実験したことを正確に記録する方法を身に付けていく必要がある。</li> <li>○自然事象に興味をもっているが、理由を明確にして現象を説明することに課題がある。</li> <li>○植物や昆虫について、季節や気温に関連付けて考えたり、相違について気付いたりしているが、理科で大事な言葉を意識して話すことについては課題がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎実験道具は繰り返し使う練習をする。観察や実験したことを正確に記録するために、記録する視点を提示する。また、分かったことや気付いたこと、考えたことを書かせる。</li> <li>○観察や実験を行うときに、結果の予想を立て、予想した理由を話し合う機会を増やす。</li> <li>○植物や昆虫について、写真・図鑑などの補助教材、VTR教材の活用を心がけ、関連性や相違性などの理解を深めさせる。また、理科で用いる用語を意識しながら指導をする。</li> </ul>

音楽	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで音楽に関わり、音楽活動へ思いや意図をもって取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。</li> <li>○思いや意図を表現するための基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取れるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知っているものに対しての意欲はあるが、知らないことや新しいことに抵抗感を示すなど児童の興味関心にムラがある。</li> <li>○雰囲気だけを楽しむだけになってしまい、思いや意図をもって聴いたり、表現したりすることができない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎季節の歌や行事の歌を常時活動の中に取り入れ、他教科での学びや生活に結びついていることを意識させながら取り組ませることで、児童の興味関心を引き出していく。</li> <li>○わかりやすいめあての設定をし、スモールステップを組んで学習をすすめていく。</li> <li>○本時の学習につながるミニ鑑賞やフラッシュカードを取り入れ、復習に重点を置く。</li> </ul>

図工	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</li> <li>○材料などから豊かな発想をし、手や身体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。</li> <li>○身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や用具を、用途に合わせて使うことが身につけていない児童がいる。</li> <li>○題材によって集中力や継続力にむらがある。</li> <li>○作品制作は積極的であるが、道具を大切にしない場合がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎構想の段階で、グループごとに意見交換の場を設け、題材についてのイメージを伝え合い、発想を広げる時間を設ける。</li> <li>○参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用方法をわかりやすく提示する。</li> <li>○自分なりの工夫ができていない作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。</li> <li>○作品制作だけではなく、正しい道具の使い方と片付けの方法を、絵図や手順を明記したものを提示す</li> </ul>

体育	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が「できる」楽しさを味わい、主体的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>○各種の運動の基礎・基本となる動きや技能が身に付き、さらに高められるようにする。</li> <li>○体づくり運動では敏捷性と柔軟性を高めるようにする。</li> <li>○保健や食育の学習では、日々の生活を健康に過ごすため、規則正しいリズムのある生活(食事・運動・休養・睡眠など)を続けることの大切さについての理解を図る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となり、得意でない児童は消極的な参加となっている。</li> <li>○ボールを使った運動の中で、投げる運動に経験不足を感じる。</li> <li>○柔軟性に課題がある。</li> <li>○規則正しいリズムのある生活(食事・運動・休養・睡眠など)が日頃から続いていない課題がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ゲーム型の授業で、課題の解決を目指して、児童同士で運動の取り組み方を助言するなど、お互いに高め合いながら、解決につながる場面をつくる。</li> <li>○ベースボール型の授業で、投げる力を身に付けることができるように、正しい投げ方を指導し、パス練習に取り組む。</li> <li>○運動に必要な柔軟性が身に付くように、ストレッチ運動を準備運動や整理運動に取り入れる。</li> <li>○規則正しいリズムのある生活(食事・運動・休養・睡眠など)を続けることの大切さについて保健や学活、給食などを通して理解し、考えさせる。</li> </ul>

## 第4学年：課題と授業改善案

国語	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、全体的に目標値を下回り、区平均正答率にも達していない。</li> <li>○話し合いの内容の聞き取りや漢字を読むことは、区の平均値に近い結果を出すことができたが、漢字を書くことや説明文の読み取り、作文については課題がある。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明文の内容を読み取るための基礎的な力に課題がある。</li> <li>○3年生までの漢字を書くことや学年配当の漢字、ローマ字で表記されたものを読むことに課題がある。</li> <li>○図や表から大切な情報を見つけることに課題がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎説明文の学習を通して、文章のつくり、段落のつながりやはたらきについて重点的に指導する。</li> <li>○パソコンを使ったローマ字入力の練習や反復的な漢字練習、日常からの辞書引きの練習を行う。</li> <li>○説明文の学習では、要点を自分でまとめる活動や、図や表から分かることを自分の言葉でまとめる活動を取り入れていく。</li> </ul>

社会	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、全体的に目標値を下回り、区平均正答率にも達していない。</li> <li>○観点別正答率も区の平均を下回った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科に対しての意欲・関心が低い。</li> <li>○基礎・活用の基礎的な力に課題がある。</li> <li>○調べ学習は興味・関心をもって取り組んでいたが、どの資料を読み取ればいいのかかわからず、上手にまとめることができなかった。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎様々な資料を提示し、社会的な事象について、因果関係や人々の思いについて思考する場を設定して指導する。</li> <li>○体験的な学習の場を多く設定し、どんなことを学んだか振り返りができるように指導する。また、様々なものに触れ、そこに关わる人々の思いについて実際に見たり、聞いたりすることで、考えを深められるように指導する。</li> <li>○社会科の興味・関心を高めるために、47都道府県名を歌などで覚えさせ、知識として理解する楽しさを</li> </ul>

算数	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、正答率が目標値に達している問題が全体の87%であった。</li> <li>○領域別では、「数や計算」がやや弱い。</li> <li>○観点別では、特に「数学的な考え方」の正答率が低い。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3桁×2桁で答えが4桁になる計算問題など、大きな数の計算が苦手な児童が多い。</li> <li>○正しく計算する力に課題がみられる。</li> <li>○個人差が大きく、基礎・基本が身につけていない児童がみられる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎習熟度別指導を通して、一人一人の実態を把握して個に応じた指導を充実させる。</li> <li>◎計算や図形の理解が不十分な児童には、スモールステップ学習で個別に対応し、「できた」「分かった」という体験を積み重ねることで、知識の定着を図る。</li> <li>○繰り返し計算練習を行い、計算力を高めていく。</li> <li>○自分の考えを発表したり、他者の考えを聞いて自分の考えを深めたりする時間をもつようにする。そのような活動を通し、様々な解決方法や表現の仕方を増やし、場面に応じて活用できるようにしていく。</li> </ul>

理科	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果から、「生命・地球」「物質とエネルギー」両領域において正答率が区の平均を下回った。</li> <li>○観点別でみると、「科学的な思考・態度」「自然事象についての知識・理解」が目標値を下回った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「生命・地球」領域では主に観察を行うが、動植物や星空を実際に観察することが難しい。</li> <li>○観察をする際にも、観察の際の観点が徹底されず、焦点を絞り切れなかった。</li> <li>○実験の条件を揃えるもの、複数の実験から考察することなどの課題を解決することが難しかった。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎実験のめあて、自分の考え、結果、考察などしっかりとノートにまとめられるようにする。また、小テストなどを行い、学習の定着を図る。</li> <li>○「生命・地球」領域の学習においては、実際に観察・実験をする体験をできるだけさせるような学習計画を立てるようにする。また、天候や生育状況などによりそれが難しい場合にはICT機器を活用するようにする。</li> <li>○植物の成長や気候の変化などは、継続観察を通して、興味・関心がもてるよう指導する。</li> </ul>



音楽	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで音楽に関わり、音楽活動へ思いや意図をもって取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。</li> <li>○思いや意図を表現するための基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取れるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽に対して気付きや思いをもつことができても、具体的な共通事項に照らし合わせて表現することができていない。</li> <li>○共通事項の言葉の意味を正しく理解できていない。</li> <li>○自然で無理のない発声方法を身につけていない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎下学年で学習した内容を復習させるフラッシュカードやミニ鑑賞を取り入れることで、基礎基本の定着を図っていく。</li> <li>◎単元ごとの課題となる共通事項を毎時間確認させる。</li> <li>◎目標や憧れとなる歌声、合唱の鑑賞を意図的に取り入れ、経験を増やしていく。</li> <li>◎呼吸に意識を向けさせ、姿勢や口の形や響きの場所などを具体的に指導していく。</li> </ul>

図工	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</li> <li>○材料などから豊かな発想をし、手や身体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。</li> <li>○身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品制作を通じ、創造的な発想が身につけていない児童がいる。</li> <li>○材料の特徴を生かす技能が身につけていない傾向がある。</li> <li>○作品制作については積極的であるが、集中力、持続性に欠ける児童がいる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎構想の段階で、グループごとに意見交換の場を設け、題材についてのイメージを伝え合い、発想を広げる時間を設ける。</li> <li>◎自分なりの工夫ができていない作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。</li> <li>◎材料の特徴をみんなで話し合ったり確かめ合ったりして、効果的な表し方を考察する時間を設ける。</li> <li>◎参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用方法をわかりやすく提示する。</li> </ul>

体育	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が「できる」楽しさを味わい、主体的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>○各種の運動の基礎・基本となる動きや技能が身に付き、さらに高められるようにする。</li> <li>○お互いが協力し合い、教え合う中で自分の成長を感じることができるようになる。</li> <li>○器具を使った運動で自分のめあてにあった技が全員できるようにする。</li> <li>○保健での体の発達や食育の学習において、日々の生活を健康に過ごすための理解を図る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となっていて、苦手な児童は消極的な参加となっている。</li> <li>○できないことでの苦手意識や経験の不足により、興味をもって取り組める運動に個人差が見られる。</li> <li>○道具(ボールなど)の扱いに個人差が大きく見られる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎能力の習得を目的とする活動の時間を毎時間必ず設定する。十分に時間を確保することで、道具の扱いを習熟させていくようにする。</li> <li>◎個人の力に合わせためあてを設定する。また、チームの中で教え合い学習の場を設定し、全員がそれぞれのめあてをもって学習できるようにする。「できた」という達成感を味わうことができるようにすることで、苦手な児童も積極的に参加できるようにする。</li> <li>◎楽しみながら運動の動きを習得できるように、基礎能力の習得を目的とする活動においてゲーム要素を取り入れる。活動を工夫することでどの児童も興味をもって取り組めるようにする。</li> </ul>

## 第5学年：課題と授業改善案

国語	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、正答率が目標値を上回っている項目と著しく下回っている項目がある。</li> <li>○パンフレットをもとに話し合う項目、作文の項目については、目標値を下回った。</li> <li>○文章の内容を読み取る項目では、物語文について目標値を上回った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いの要点を押さえながら、自分の考えや感じたことを文章に書く力に課題がある。</li> <li>○文章量が多い問題への取り組みに課題がある。</li> <li>○条件に合わせて作文を書くことに課題がある。</li> </ul>
<b>授業改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎説明文などを読解していく際、内容や要旨をとらえながら読み、要約して文章にまとめる力を養う。</li> <li>○文章量が多い問題に対しても、細かく段落を区切りながら取り組む力を養う。</li> <li>○朝学習「南作タイム」を活用し、様々な題や条件に対応して文章を書く場を設定する。また、例文を活用し文章全体の組み立てを考えて文章を書く指導を行う。</li> </ul>

社会	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学力効果測定の結果では、「地図の見方」「県の様子」の項目が目標値を大きく下回った。</li> <li>○領域別に見ると、「県の様子」が目標値を下回っている。「生活環境を守る活動」「先人の働き」については目標値を上回る結果になった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都道府県の名称と位置についての理解がとても低い。</li> <li>○地図帳の使い方が十分でないので、地図を活用していく力をつけていくことが課題である。</li> <li>○関係諸機関の基本的な役割や連携を関係付けて考えることが課題である。</li> <li>○習得した知識や資料等から、自分の考えをまとめる力が十分ではないので、自分の考えをもって授業に取り組むことが課題である。</li> </ul>
<b>授業改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎都道府県の名称と位置について、校内テストなどで着実に定着させる必要がある。</li> <li>○地図帳を使用し、地理的なことを中心とした問題を授業に取り入れながら、地図に慣れる指導を繰り返す。</li> <li>○資料等から読み取れること、考えたことをノートにまとめ、友達と考えを比較しながら話し合いをする時間を作る。</li> </ul>

算数	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、「折れ線グラフ」に関する問題において正答率が低かった。</li> <li>○領域別では、「数や計算」「図形」が弱い。</li> <li>○観点別では、特に「算数への関心・意欲・態度」の正答率が低い。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図形の性質を調べたり、図形を丁寧に描いたりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>○計算の方法は分かっているが、正しい答えを求められない児童が多い。</li> <li>○今まで学習したことを生かし、様々な場面に応じて柔軟的に算数的知識を活用する力に課題がみられる。</li> <li>○個人差が大きく、基礎・基本が身につけていない児童がみられる。</li> </ul>
<b>授業改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎習熟度別指導を通して、一人一人の実態を把握して個に応じた指導を充実させる。</li> <li>◎計算や図形の理解が不十分な児童には、スモールステップ学習で個別に対応し、「できた」「分かった」という体験を積み重ねることで、知識の定着を図る。</li> <li>○問題に取り組ませる際は、グラフや図、線分図、数直線などを丁寧にかけ、見通しをもって問題を解くようにしていく。</li> <li>○自分の考えを発表したり、他者の考えを聞いて自分の考えを深めたりする時間をもつようにする。</li> </ul>

理科	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、全体的に目標値を下回るものが多かった。</li> <li>○観点別に見ると、「自然事象への関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」「自然事象についての知識・理解」が特に目標値を下回っていて、問題の内容を見ると、「天気のようにと気温」「電気の働き」「ものの体積と温度」が特に弱い。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設問の意味を理解せずに、回答している傾向が見られる。</li> <li>○気温の測り方の理解が十分でないで、理解を深めるようにする必要がある。</li> <li>○乾電池の並列つなぎの理解が十分でないで、理解を深めるようにする必要がある。</li> <li>○物の体積変化についての理解が十分でないで、変化の要因と実験結果を関連付けた理解させることが必要である。</li> </ul>
<b>授業改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎観察・実験の目的や方法、手順について考えさせ、実験器具の使い方や名称について確認してから観察・実験に取り組ませる。</li> <li>○実験から気づいたことをノートに記録し、結果を仮説や予想と比べたり、友達の考えと比べたりしながら根拠をもって考察させる。</li> <li>○実物や図、表、グラフなどを使って、見た目では分からない物の変化についてのより確かな知識を身につけさせる。</li> </ul>

音楽	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に音楽に関わり、音楽活動へ思いや意図をもって取り組み、多様な音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。</li> <li>○思いや意図を表現するための基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取れるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽に対して気付きや思いをもつことができても、具体的な共通事項に照らし合わせて表現することができていない。そのため自信がなく、前向きに学習に取り組めていない。</li> <li>○共通事項の言葉の意味を正しく理解できていない。</li> <li>○自然で無理のない発声方法を身につけていない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎下学年で学習した内容を復習させるフラッシュカードやミニ鑑賞を取り入れることで、基礎基本の定着を図っていく。</li> <li>○単元ごとの課題となる共通事項を毎時間確認させる。</li> <li>○目標や憧れとなる歌声、合唱の鑑賞を意図的に取り入れ、経験を増やしていく。</li> <li>○呼吸に意識を向けさせ、姿勢や口の形や響きの場所などを具体的に指導していく。</li> </ul>

図工	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</li> <li>○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。</li> <li>○親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な技能を身につけるのに時間がかかり作品制作に生かせない傾向がある。</li> <li>○基本的な技能を身に付けたあとの独創性が足りない児童がみられる。</li> <li>○作品制作については積極的であるが、集中力、持続力に欠ける児童がいる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎構想の段階で、グループごとに意見交換の場を設け、題材についてのイメージを伝え合う中で、新たな発想や効果的な表現方法を考察する時間を設ける。</li> <li>○参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用方法をわかりやすく提示する。</li> <li>○短時間で完成できる題材をいくつか選び、技能を身に付けさせ、達成感を味わわせる。</li> <li>○自分なりの工夫ができていた作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。</li> <li>○題材目標に向けての自分のイメージを持てるよう、ワークシートを活用する。</li> </ul>

家庭	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭生活をよりよくしようと意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>○衣食住や家族の生活に関する実践的・体験的な活動を通して、その大切さに気づくようにする。</li> <li>○日常生活に必要な基礎的な知識及び技能を身に付けるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作の際、興味をもって取り組むが、作品に創意工夫を生かそうとする姿勢に欠ける。</li> <li>○バランスのよい食事について理解はしているが、実際には好きな物を摂取し、偏った取り方になってしまう傾向がある。</li> <li>○活動に対する個人差が大きく、必要な材料や手順を踏まえ、製作計画や調理計画を立てられない児童が多い。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎製作や調理の学習に際して、実物標本や段階標本などを提示の仕方を工夫し、作業中に児童が互いに教え合えるようにする。</li> <li>○ワークシートやチェックカードなどの学習カードを活用し、食生活をふり返りバランスのとれた食事の仕方ができるようにしていく。</li> <li>○作業が能率よく進められるようにするため、器具や備品の整備、充実にも努める。</li> <li>○生活に役立てた取り組みや友達の実践を共有し、自分や家族のためによりよい生活を送れるための取り組みをさらに考えられる場を設定する。</li> </ul>

体育	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が、様々な運動に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>○全員が水泳で25m以上泳げるようにする。</li> <li>○自分の能力や体の調子に気付き、運動の必要性を理解し、体力が向上するようにさせる。</li> <li>○体づくり運動では敏捷性を高め、前年度を上回るようにする。</li> <li>○保健や食育の学習では、生活体験の中から心の発達および不安、悩みへの対処のしかたについて理解し、けがの防止や心の健康についての理解を図る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となっていて、苦手な児童は消極的な参加となっている。</li> <li>○体力テストの結果から、投てき力にやや課題がみられる。</li> <li>○集団でのかかわりや仲間との学び合い、課題解決の方法や発見に関して興味関心があまりない傾向がある。</li> <li>○苦手意識や経験の不足により、興味をもって取り組める運動に個人差が見られる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童が互いに助言し合い、高め合っていけるように活動の振り返りを行う。</li> <li>○全員が25m泳げるようになることを学年目標として示し、級毎に分かれて、重点的に練習できる場を設定する。</li> <li>○体を動かす楽しさや心地よさを味わって運動に取り組む。</li> <li>○運動量を十分に確保し、体力の向上を図る。自己の成果が自覚できるような学習計画を立てる。</li> <li>○投てき力を高めるために、ボール運動では、基礎基本となるボール操作のドリル学習を取り入れる。</li> <li>○集団でのかかわりが必然的に求められるような学習教材を選び、学習形態を工夫する。</li> <li>○自分の体の状態に気づいたり、体の調子を整えたり、保健や食育の学習で学んだことを実生活に生かせる</li> </ul>

## 第6学年：課題と授業改善案

国語	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、全体的に正答率が目標値と同程度か上回っている結果だった。</li> <li>○話の内容を聞き取る問題では、聞くことは高い正答率であったが、立場や意図をはっきりさせ計画的に話し合うことは低い正答率であった。</li> <li>○作文は目標値を上回ったが、適切に書き直すことは低い正答率であった。</li> <li>○文章の読み取りでは、説明文の内容を的確に読み取ることが、目標値を大きく下回った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明文で筆者の意図を汲みながら、書かれている事実を的確に押させて要約することに課題がある。</li> <li>○話し合い活動において、目的に応じて、内容を明確にししながら、決められた時間を意識して計画的に話し合うことに課題がある。</li> <li>○文章量が多い問題への取り組みが課題である。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎説明文などを読解していく際、筆者の主張とそれを裏付ける事実に着目させ要約などを行うことで、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせる。</li> <li>◎朝学習「南作タイム」を活用し、例文を書き直して、文章を再構築させる指導を行う。</li> <li>◎話し合い活動をする際に、目的と内容を明確にし、途中で助言をしながら話し合いを進めるさせる。</li> </ul>

社会	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、全体的に目標値を下回る結果となった。</li> <li>○社会的事象への関心・意欲・態度が最も大きく目標値を下回った。</li> <li>○社会的な思考・判断・表現では、目標値程度であった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料から自分の考えをまとめたり、判断したりする力が十分でない児童がみられる。</li> <li>○学習した内容の知識・理解の定着が不十分である児童がみられる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料から考えたことや分かったこと等をノートや新聞に書く機会を継続的に設け、資料を読み取る力を育む。</li> <li>◎児童一人一人がインターネットや資料集等を活用して、ノートなどに自分なりにまとめていく活動に取り組む。</li> <li>◎歴史では、自分が選んだ人物に注目し、タブレットを利用してより深く調べる活動を通して、歴史背景や流れを学べるようにする。</li> </ul>

算数	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では分数や小数の計算において目標値を下回っている。</li> <li>○領域別でも、「量と測定」や「図形」では目標値を上回っているが、「数と計算」「数量関係」は下回っている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5割以下の正答率であった問題は全体の23%。</li> <li>○百分率の問題で、演算決定やその計算で間違える児童が多い。</li> <li>○分数や小数の計算が身につけていない児童が多い。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ステップ学習プリント等を活用し、確実に計算できるようにする。</li> <li>◎習熟度別指導を通して、一人一人の実態を把握して個に応じた指導を充実させる。</li> <li>◎線分図や図での求め方を繰り返し指導し、問題を読んで線分図や図を書き、見直しをもって演算決定できるようにする。</li> <li>◎基礎・基本の定着が不十分な児童には、スモールステップ学習で個別に対応し、「できた」「分かるようになった」という経験を積みませ、算数への意欲・関心を高めていく。</li> </ul>

理科	
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、全体的に正答率が目標値と同程度か上回っているものが増えた。</li> <li>○「ふりこのきまり」では、目標値を大きく下回った。</li> <li>○「電流のはたらき」の「電流の流れる向きと方位磁針の関係」では、正答率が目標値を大きく下回った。</li> <li>○「顕微鏡の使い方」「植物の花のつくりと実」「植物の発芽と成長」では、実験の意味やその方法を考えたり、理由を説明したりすることが、目標値を下回った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○何のために実験をしているのか分かっておらず、知識・理解に結び付かない傾向がある。</li> <li>○既習事項が生活と結びつかず、学習したことを継続的に確認する必要がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎観察・実験の目的や方法、手順について考えさせ、実験器具の使い方や名称について確認してから観察・実験に取り組ませる。</li> <li>◎実験から気づいたことをノートに記録し、結果を仮説や予想と比べたり、友達の考えと比べたりしながら根拠をもって考察させる。</li> <li>◎見た目では分からない物の変化について、絵や図で表すことで、より確かな知識を身につけさせる。</li> <li>◎既習事項と結びつけた学習を進める。</li> </ul>

音楽	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に音楽に関わり、音楽活動へ思いや意図をもって取り組み、多様な音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。</li> <li>○思いや意図を表現するための基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取れるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽に対して気付きや思いをもつことができても、具体的な共通事項に照らし合わせて表現することができていない。</li> <li>○共通事項の言葉の意味を正しく理解できていないため、曲想と構造の関わりについて気付くことができない。</li> <li>○自然で無理のない発声方法を身につけていない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎下学年で学習した内容を復習させるフラッシュカードやミニ鑑賞を取り入れることで、基礎基本の定着を図っていく。</li> <li>○単元ごとの課題となる共通事項を毎時間確認させる。</li> <li>○目標や憧れとなる歌声、合唱の鑑賞を意図的に取り入れ、経験を増やしていく。</li> <li>○呼吸に意識を向けさせ、姿勢や口の形や響きの場所などを具体的に指導していく。</li> </ul>

図工	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○造形的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びをあげようようにする。</li> <li>○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。</li> <li>○親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品制作については積極的であるが、集中力、持続力に欠ける児童がいる。</li> <li>○基本的な技能を身に付けたあとの独創性が足りない児童がみられる。</li> <li>○作品制作は積極的であるが、道具を大切にしない児童がいる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎題材目標に向けての自分のイメージを持てるよう、ワークシートを活用する。</li> <li>○構想の段階で、グループごとに意見交換の場を設け、題材についてのイメージを伝え合う中で、新たな発想や効果的な表現方法を考察する時間を設ける。</li> <li>○自分なりの工夫ができていない作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。</li> <li>○制作過程ごとに目標設定をし、段階的に作業を進めることで、達成感を持ち、次の作業への意欲を高める。</li> <li>○正しい道具の使い方と片付けの方法を、絵図や手順を明記した板書をするので身につけさせ、徹底させる。</li> </ul>

家庭	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭生活をよりよくしようと意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>○衣食住や家族の生活に関する実践的・体験的な活動を通して、その大切さに気づくようにする。</li> <li>○日常生活に必要な基礎的な知識及び技能を身に付けるようにする。</li> <li>○近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活を見直し、環境に配慮した生活を自分なりに工夫でき</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作の際の細かい作業やミシンの使い方においては、理解・定着に、個人差がある。</li> <li>○活動に対する個人差が大きく、必要な材料や手順を踏まえ、製作計画や調理計画を立てられない児童が多い。</li> <li>○バランスのよい食事について理解はしているが、実際には好きな物を摂取し、偏った取り方になってしまいう傾向がある。</li> <li>○学習して身に付けたことを生活に役立てて取り組むことに課題が見られる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎作業中に実物標本や段階標本などの提示の仕方を工夫し、児童が互いに教え合えるよう手順確認の仕方等を工夫する。</li> <li>○作業を能率よく進められるよう、器具・備品の整備、充実にも努める。</li> <li>○ワークシートやチェックカードなどを活用して授業のふり返りを行い、家庭での実践を心がけさせる。</li> <li>○生活に役立てた取り組みや友達の実践を共有し、自分や家族のためによりよい生活が送れるための取り組みをさらに考えられる場を設定する。</li> </ul>

体育	
必達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての児童が、様々な運動に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>○全員が水泳で25m以上泳げるようにする。</li> <li>○自分の能力や体の調子に気付き、運動の必要性を理解し、体力が向上するようにさせる。</li> <li>○保健や食育の学習では、生活習慣病やアルコール・たばこの弊害についての理解を図る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力テストの結果から、柔軟性にやや課題が見られる。</li> <li>○苦手意識や経験の不足により、取り組める運動に個人差や個人内差が見られる。</li> <li>○特にバスケットボールやソフトバレーボールでのボールの操作では、キャッチやパスの技能に個人差が多く見られた。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎技能に応じて練習方法を工夫したり作戦を立てたりして、活動に目標をもたせ、意欲的に取り組むことができるようにする。</li> <li>○全員が25m泳げるようになることを学年目標として示し、級毎に分かれて、重点的に練習できる場を設定する。</li> <li>○準備運動やストレッチの中では、自分の体への気付きを高められるような声かけや助言を行う。</li> <li>○児童が互いに助言し合い、高めあっているように活動の振り返りを行う。</li> <li>○保健や食育の学習では、学習内容に関する具体的な資料や講話等を取り入れ、興味・関心や実感を高められるよう工夫する。</li> </ul>